



第2回闘病記コーナー講演会を開催しました。

私のお薦め本 第2回

服部教授が『三日月とクロワッサン』『臨床研究と疫学研究のための国際ルール集』の2冊を紹介します。

図書館の予定

文献検索講習会を行います。

- ・5/16(水) 「すばやく文献入手をするテクニック:和資料編」
- ・5/17(木) 「すばやく文献入手をするテクニック:洋資料編」
- ・5/31(木) 「CINAHL・MEDLINEの使い方」

第2回闘病記コーナー講演会を開催しました。



図書館の「闘病記コーナー」をご存知ですか？ 図書館には闘病記が400冊近くあり、2階の階段横の本棚に集めています。

「闘病記」は、Narrative Based Medicine: NBM(物語に基づいた医療＝患者との対話を通じて患者を取り巻く状況の物語を知りアプローチしていく医療)に携わる医療従事者が患者を理解するために役立つ資料として注目が高まっています。

4月25日(水)に図書館前ロビーで行った、第2回闘病記コーナー講演会のレポートと、講師の先生方がお薦めされた闘病記を紹介します。



濱田珠美 看護学科准教授 「大人のがん患者の“いたみ”と“しなやかさ”」

大人のがん闘病では、現実には直面できる強さを得た、自己成長をみることができます。癌になったことで素晴らしい経験も得ることができた、この経験を今度は闘病する人たちに伝えたい、という女性たちがいます。患者さんの体や心のいたみを知ることは大切なことです。さらにそれらを乗り越え、しなやかに生きている方たちがいることを知っていただきたいと思います。



紹介された本
「いのちの乳房」
WP/910/Ino

森浩美 看護学科助教 「思春期に発症したがん患者の病気体験」

思春期にがんになった子どもたちへのインタビューで、将来への不安や友達からの孤独感が訴えられました。その一方、家族や友人がいたから困難を乗り越えられたと感謝していました。子どもたちの闘病記もあります。病気と闘う子どもたちの、一生懸命で冷静な姿を読んでください。



紹介された本
「種まく子どもたち」
QZ/275/Tan

石川洋子 看護学科特任助教 「共感とりんり」

闘病記を読んで、読者はなぜ泣くのでしょうか。共感するからでしょうか。共感の背後には社会的・文化的影響があるのです。そのため、時として他の文化を受け入れにくくなりがちですが、自分とは違う他人の価値にも、共通の価値を見出す努力が必要です。その多様性の尊重が倫理の始まりなのです。



紹介された本
「たとへば君: 四十一年の恋歌」
911/Tat

講演後、会場からは「臨床の現場では共感するということがとても大事なことで、先生方のお話がとても勉強になった」「これから医学の勉強を始めるので、よいお話を伺って一層頑張ろうと思った」等の感想が寄せられました。

皆さんもぜひ闘病記を読んでください！

(講演会報告 文責 図書館A)

闘病記を患者理解に役立てたいと思う時、どの本を読んだらいいかすぐ選べるように、患者さんの年代や苦しみがどこにあるか等の内容が分かる分類を闘病記につけることにしました。

この作業を手伝ってくれる学生さんを募集しています！(今だけ薄謝進呈します！) 興味のある方はお気軽に図書館カウンターでお尋ねください。



こんにちは！ 学生スタッフです。

平日17～20時と土曜日には、学生スタッフが図書館カウンターで対応しています。この4月より新たに加わった2名です。みなさま、どうぞよろしくお祈りします！



山本 朝日(医学科2年)

カウンターで勤務させて頂くようになって1ヶ月。多くの方々に図書館が利用されていることを実感し、驚くばかりの毎日です。皆さんが気持ちよく図書館を利用できるように、頑張りたいと思います！

図書館で働き始めてから1ヶ月が経ちましたが、新しく知ることが沢山あり、自分が今まで図書館を活用しきれていなかったことに気づかされました。本が好きなので、本に触れる機会が増えて楽しく仕事をさせていただいています。



上田 麻衣(医学科2年)

私のお薦め本 <第2回> 服部 ユカリ 教授(看護学)

私が読む本は、専門領域である老年看護学に関連したものが多くありますが、そればかり読んでいると、疲れてきます。そんなときエッセイを読むのが私にとっての一番の疲労回復法です。そこで1冊は最近出色のエッセイを紹介します。もう1冊は、エッセイばかりでも芸がないので、まったく違う分野の本をお薦めします。

新着コーナーに入ります。6月以降はこの棚に移ります。



三日月とクロワッサン

図・開架書架/一般 914.6/Mik

新入生から教職員まで誰が読んでもそれぞれの楽しみ方ができるのが、須藤靖著『三日月とクロワッサン』(毎日新聞社 2012)です。著者は宇宙物理学者で、このエッセイは東京大学出版会の広報誌に連載されていたものです。「パリパリ」と「サクサク」はどう違うかウナギパイを持ち出して論じたかと思えば、「幸せ論的微分方程式」をたて、「負の人生などない」と解く(説く)。笑いながら読めてしまいますが、著者の知的好奇心と科学的思考に裏打ちされ、物事の本質を述べている本です。「大学教師をめぐる3つの誤解」「裸の学者」という学生さんなら誰でもが読んでみたくなるような項もあります。

臨床医学専門コーナーにあります。



臨床研究と疫学研究のための国際ルール集

図・開架書架/医学 W/20.5/Rin

大学院の新入生をはじめとする初学者にお薦めしたいのが、中山健夫、津谷喜一郎編著『臨床研究と疫学研究のための国際ルール集』(ライフサイエンス出版、2008)です。EBMやEBNのエビデンスになりうる研究のための国際ルールを網羅したものです。ランダム化比較試験に関するガイドラインCONSORT (Consolidated Standards of Reporting Trials)、疫学研究に関するガイドライン STROBE (Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology)やシステマチック・レビューのガイドライン、臨床研究に関する倫理指針等が載っており、めざすべき研究の全般的あり方がわかります。ただし、指針は改定されているものもあるので適宜ホームページ等で確認する必要があることに注意してください。

図書館のイベント予定

近日開催

展示予告

■ 図書館ガイダンス<会場:図書館2階セミナー室 (※を除く)>

図書館では現在、下記日程で**文献検索講習会**を予定しております。各講習会とも受講人数に限りがございますので、参加ご希望の方は、事前に内線2226か2224、またはカウンターまでお申し込みください。

「すばやく文献入手をするテクニック」	教室等事務職員対象	和資料編: 5月16日(水) 14:00~15:00 洋資料編: 5月17日(木) 14:00~15:00 各回8名まで。申込〆切:5/15(火) 17:00
「CINAHLの使い方」 「MEDLINEの使い方」	全学内者対象 ※会場:看護学科大講義室	5月31日(木) 17:00-18:00(CINAHL) 18:15-18:45(MEDLINE)
「医中誌検索と文献入手方法」	全学内者対象	6月実施予定
「PubMed検索と文献入手方法」	全学内者対象	6月実施予定

詳細は決定次第、図書館ホームページ等でお知らせします

■ ミニ展示

「旭川を知ろう！」
5/22~(2階エレベーター横)
旭川ってこんなところ！
初めて北海道に来た新入生にもオススメです♪

■ 交換展示

「ややや！」
帯広畜産大学から100冊の本がやってくる
テーマは「食の安全、BSE、伴侶動物本」です。乞うご期待！

6月開催